

多文化共生社会を目指して 10年の実践事例と今後の展望

2019年12月3日（火）12:50～14:20

愛知県立大学長久手キャンパス
学術文化交流センター（K棟）小ホール

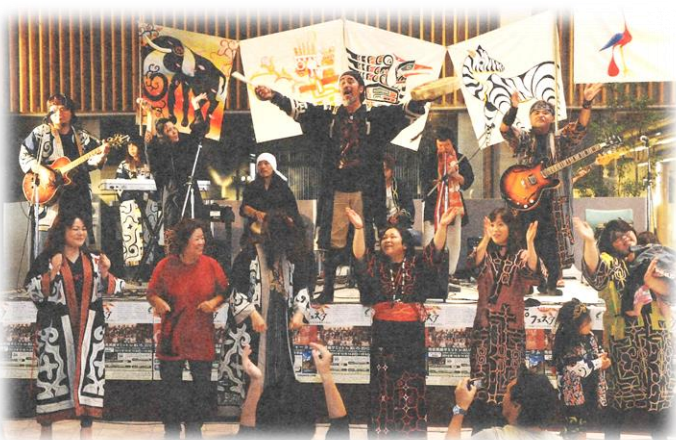
公開開催、申込不要、参加無料

愛知県立大学多文化共生研究所は、2009年の新制愛知県立大学の発足とともに、大学院国際文化研究科の附置機関として設立されました。

以来、研究、教育、社会貢献の各分野で多彩で幅広い活動を繰り広げ、2019年でちょうど設立10周年を迎えました。

研究所のこれまでの活動状況を振り返り、その意義を踏まえつつ、今後の研究所のあり方を展望していくための記念シンポジウムを開催します。

- ◇ 趣旨説明 亀井伸孝（愛知県立大学教授、多文化共生研究所副所長）
- ◇ 基調講演 稲村哲也（愛知県立大学名誉教授、放送大学特任教授、多文化共生研究所初代所長）
「人類学から考える多文化共生」
- ◇ 話題提供1 日丸美彦（愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員）
「ばっちゃんサミット、先住民族サミットから学んだ“自然との共生”」
- ◇ 話題提供2 小池康弘（愛知県立大学教授、多文化共生研究所所長）
「学際的研究共同体としての多文化共生研究所の意義と新しい挑戦」



「先住民族サミット in あいち 2010」
(2010年10月)

「にほんの里フェスタ: 里のばっちゃんサミット」
(2009年4月)



【主催】 愛知県立大学多文化共生研究所

Tel: 0561-76-8824

Fax: 0561-64-1105

E-mail: tabunka@for.aichi-pu.ac.jp

Website: <http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/>



花ひらく、底力

I can do, 愛県大。

愛知県立大学は、新大学誕生10周年、長久手移転20周年を迎えました。

※ 本シンポジウムは、愛知県立大学新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業関連企画として実施されています